

学校名		佐賀県立佐賀農業高等学校	
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立と生活マナー等の向上に向けて、多くの生徒が意識をもって学校生活に取り組んでいる。今年度も、生徒一人ひとりがその大切さを自覚しさらに主体的に取り組むよう、引き続き、指導や支援に努めて行く必要がある。 ・学校の魅力づくりは、各学科の特色ある取組、資格取得や進路実現(就職、進学)、部活動の活発化等、着実に推進している。一方、グローバル人材育成に向けた地域との交流や探究活動については、なお一層、力を入れていく必要がある。 ・「生活マナーの向上」「学校の魅力作り」そして「タイムリーな情報発信」を通して、在校生の満足度のアップとともに、地域の方々や中学生からの期待に応えられる学校づくり(必要とされる学校づくり)に、引き続き、邁進する必要がある。 ・業務改善や働き方改革の推進に向けては、職員一人ひとりが意識を持ち、メリハリをつけての校務遂行が欠かせない。 		
2 学校教育目標	教育理念：「農は国の基」 校訓：「質実剛健、明浄真正」 教育目標：「農業の専門教育を柱とし、さまざまな教育活動をとらして、地域社会に貢献できる有為な人材を育成する。」		
3 本年度の重点目標	スローガン：「汗をかき 人と和して 己を磨く」 ～地域に根ざすグローバル人材の育成をめざして～ (1) 基本的な生活習慣の確立と「生活マナー・コミュニケーション能力」の向上を図る。 (2) 学びあい(学んでよかった)、そして学びたい学び舎をめざし、学校・学科の魅力づくりの推進に努める。		
4 重点取組内容・成果指標			
(1) 共通評価項目			
	重点取組		具体的取組
評価項目	取組内容	成果指標(数値目標)	
●学力の向上	○学力向上につながる学びへの意識向上 ○学びの場の整理整頓	○「学びの時間」に主体的に取り組む生徒90%以上をめざす ○年間での全生徒の小テスト(プチテスト)の平均点を85%以上にする ○身の周りの整理・整頓を意識する生徒90%以上をめざす	・「学びの時間」の充実に向けた雰囲気づくりと指導体制の確立に努める ・小テストの事後指導の充実と徹底を図る ・生徒の意識向上に向けて、HR並びに実習の場を含め、あらゆる場面での生徒への声かけと意識涵養に努める
	○職員の授業力の向上	○生徒のアンケートで、授業満足の割合を80%以上をめざす ○「わかる授業づくり」を意識する職員90%以上をめざす	・授業公開週間を設定し、参考となる点や課題、生徒の様子等の情報共有から、全体的な授業力の向上につなげる ・各種研修会への積極的な参加と、職員相互の授業研究を推進する
●心の教育	●「生命尊重の心」と「協働する心」の育成	○他者への「思いやり」や「優しさ」に配慮した言動をとる生徒90%以上をめざす	・日々のHRや実習等を通じた命の大切さへの理解と、他者との関わり方に向けた体験活動や指導を充実させる ・全校ボランティアや異年齢交流の充実を図る
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「いじめは絶対に許されない」との意識を持つ生徒100%をめざす	・定期的なアンケート実施による早期発見と、積極的ないじめ認知に努める ・「いじめ防止の標語づくり」と校内への掲示 ・生徒が相談しやすい関係づくりに努め、いじめ事案に対する組織的な対応の徹底を図る
●健康・体づくり	●安全に関する資質・能力の育成	○農業実習や部活動等での生活事故の前年比半減、登下校時の交通事故0(ゼロ)をめざす	・生活事故防止に向けた研修会等を実施し、生徒・職員の安全確保に向けた意識を高める ・自転車マナーの向上と交通事故防止に向け、登下校時の安全指導と交通講話等の充実を図る
	○感染症予防に向けた危機意識の向上	○感染症予防に向けた意識を持つ生徒90%以上をめざす	・ウィズコロナ時代での工夫を凝らした行事の実践を通して、生徒の意識向上につなげる ・「はなまる連絡帳」によるタイムリーな情報提供と注意喚起に努める
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。(1月45時間、年間360時間) ○ワークライフバランスに向けた意識向上を図る	・定期退勤日の設定(水曜日)と呼びかけ ・部活動休養日(2日間)の設定 ・出退勤管理システムを活用した、自らの働き方振り返りと見直し(効率化、時間外削減)を、さらに推進する
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目			
	重点取組		具体的取組
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	
○基本的な生活習慣の確立並びに「マナーとコミュニケーション能力」の向上	○身だしなみ・挨拶・礼儀マナーの向上 ○コミュニケーション能力の向上	○身だしなみを整え、自ら主体的に挨拶ができる生徒90%以上をめざす ○挨拶や礼儀マナー、他者との関わり方が上達したと感じる職員90%以上をめざす	・生徒への積極的な声かけや関わりを通して、生徒・職員間の関係づくりにつとめる ・HRや授業で、時間やルールの順守と挨拶や身だしなみの大切さを繰り返し伝える ・さまざまな場面を通して、「伝える力・聴く力・相手の思いを読み解く力」の育成に「務める
	◎佐賀への誇りと期待を胸に、高い志を持って地域に関わっていかうとする教育活動	○「佐賀に誇りを持ち、地域に関わっていかうとする」生徒90%以上をめざす ○県内就職率70%以上をめざす	・地域と連携する活動、地域をテーマとするフィールドワークや探究活動を充実させる ・県内企業説明会への参加と県内事業所を招聘しての進路ガイダンス(複数回)を実施する
○魅力ある学校・学科づくり	★グローバルな学びの推進 「地域農業を課題とする探究活動」並びに「コミュニケーションツールとしての英語力向上」を柱とする取組	○地域をテーマとする探究活動やプロジェクト研究に意欲的に取り組む生徒60%以上をめざす ○積極的に英語でコミュニケーションをとろうとする生徒60%以上をめざす	・1年次「総探」の個人研究を足掛かりに、2年、3年次の「課研」の充実につなげる ・英語の授業充実に加え、留学生、ALT等のネイティブスピーカーとの交流、学校交流、語学研修等にも積極的に取り組む
	○各学科での特色ある取組の推進 ○各学科での資格取得の推進と進路指導の充実	○各学科の専門学習へ興味関心をもって取り組む生徒90%以上をめざす ○資格取得者数の前年度比20%アップをめざす ○県内外の優良企業への就職者の増、官公庁へ15名以上の就職、国立大学3名以上の合格をめざす	・「スマート農業・新商品の開発・ドローン活用」等、各学科の特色ある取組の充実発展を図る ・資格取得指導の充実に向けて、指導体制の強化と担当者の指導力向上を図る ・出口指導の確立に向けて、職員の意識向上を柱に、各学科・3学年・進路指導部の連携強化、そして進路検討会の充実を図る